

らの指摘もあり、今回はそれぞれ〈客観化〉と、〈客観化された現実〉あるいは〈客観化過程の産物〉等々と訳し替えてみることにした。もう一つの基本用語である *objectification* は *Vergegenständlichung* の訳語であるとされているので（旧訳書ではこれを〈客観化〉と訳したのであるが）、文字通り〈対象化〉と訳し替えることにした。（〈客観化〉されたものを意識や認識の対象にするという意味で用いられていると解したためである。このように訳し替えたからといって、いつもこれらの訳語がピッタリ当てはまる、というわけではない。原著自身の用語法にも疑問を抱かせる箇所がいくつかあるからである。無責任なようであるが、疑問を感じる箇所があれば原著にあたっていただきたい。これ以外にも訳語を替えたものがいくつもある。訳語で馴染みのうすいものについては、ルビをつけるなり原語を書き入れるなりしておいた。また原著には多くのラテン語の慣用語句が使われているが、とくに意味のあることばを除いて、ルビをつけたり原語を示すようなことはしなかった。なお、原文のイタリックの部分は訳語に傍点を付し、……の部分——なかに文章が入るような場合は「……」とした他は——すべて〈……〉で通すことにした。

本訳書の旧版が世に出てもすでに四半世紀が経ち、原著の出版は四〇年近い過去に遡る。いくつかの問題点を含みながらも、なお本書が読み継がれてきているのは、本書が経験科学の理論の書でありながら、同時に、社会と人間との間に成立している *anthropological necessity* としての弁証法の三つの契機（外化、客観化、内在化）——「社会は人間の産物である。社会は客観的現実である。人間は社会の産物である」——を別出することによって、人間の世界経験の永遠の相の一端に迫ることに成功しているからであろう。社会と人間の関係に関心をもち、しかも客観主義（科学主義）でもなければ主観主義でもない、柔軟で、弁証法的な思考を社会学に求める人々によって、本書がこれからも末永く読み継がれていくことを期待したい。

二〇〇二年秋

山口節郎

命名法 201

もっもらしさ 141  
 物事は手廻にしたがって 41  
 物の怪のとり憑き 270

や 行

厄払い 236  
 役割 87f.101,113ff.139,142f.157,262  
 有意性 69,89,109,118f.124,155,210,224,  
 234,269  
 有意性構造 70,97f.111,122  
 友人 229f.  
 ユートピア的思考 14  
 夢 31,34,62,147,153,223,226,260

予測可能性 88

ら 行

理解 32,197  
 領有権 90  
 理論 37f.101,110,124,133,145,177,268  
 類型 48,156  
 類型化 50f.60,63,84f.87ff.111,113  
 類型化関式 46ff.66,107,113  
 ルサンチマン 9  
 ルーティーン 65f.91,108,112,149,154,  
 161,225f.231,238  
 歴史 10,85,143,156,162,193,264,273  
 歴史主義 7,10  
 歴史性 10,41,85,90  
 労働 9,90  
 論理 99f.127,267

跳躍 38  
直接的な会話 261  
地理 74  
治療 171ff.191,241,256,270,273  
沈黙化 104ff.

通過儀礼 108,145,152,219,258

哲学 2f.10,29,62,287  
伝統 95,104ff.143f.162f.167,178,183f.

動機 198  
統合 21,36,38,61,101,106,109,116f.125,  
129,142,154

洞察力 173  
同時代人 49  
統制 85,93,96f.109,114  
同輩集団 258  
動物 74ff.156  
独占状態 184

独特の現実性 25  
匿名化 106,160  
匿名性 48ff.60,105f.216  
匿名的 48ff.  
ドラマ 115

### な 行

内在化 94,102f.113,172,196ff.261  
なにげなさ 231

日常生活 22,28ff.  
担い手 203,210  
入院治療 246  
人間という動物 276ff.  
人間の身体 75ff.  
認識論 17ff.

年齢 207f.

### は 行

媒介者 117,214  
背景 83,89  
パーソナリティの発達 152  
反逆者 258

美学 38  
引き継ぐ 197  
美的経験 38  
病気 248,276  
病理学 172

部外者 133,191  
普通の間人 120,137  
物象化 135ff.283,285  
物神 109  
不信の術 10  
プラグマティズム 33,59,64,177ff.  
分業 89,103,119,124,177,189ff.209f.248,  
262

分節化 126,129f.  
文通 44,46,233f.  
文法 63  
文明化された社会 156  
分離可能性 56ff.62

変化 237ff.  
弁証法 8,94f.102,120,196f.200,229,264,  
266ff.268f.283f.

方向づけの喪失 42  
方向づけのやりなおし 42  
方法論 19f.

法律 116  
翻身 237ff.258f.  
本性 77f.  
本能 75,77f.83

### ま 行

魔術 56  
マージナルな状況 147,150,152,223ff.  
236

未開社会 123,151,155,183

身ぶり 58,278  
未来 156  
民話 144

無意味 69  
無効化 171,173ff.191,236,240f.244

象徴的世界 141ff.212,266,283  
 情緒の要素 200  
 職業 63  
 食事 275,277ff.  
 処方の知識 65,101  
 神学 169ff.  
 神経症 270ff.  
 親族 144  
 親族関係 111  
 親族構造 144,159  
 身体 39f.53,56,75ff.203,275ff.  
 信憑性構造 238ff.258  
 シンボリック・インタラクショニズム学  
 派 23  
 親密 63  
 親密性 50,63,66  
 心理学 83,88,99,147,266ff.282  
 心理療法 240  
 神話 127f.151,153,159,167ff.267  
  
 睡眠 278

性 63,77f.254  
 生活史 (個人史、人生履歴) 60,63,95,  
 100ff.104,125f.143,149,192,240ff.  
 生活における位置 10  
 政治 117,157,174,187,239  
 性行動 77f.86,90,97f.118f.126f.143,171f.  
 208,232,277,279  
 制裁 115,235  
 制裁機構 85  
 制裁措置 96  
 精神医学 153  
 精神的疾患 250  
 精神病理学 267  
 精神分析 171  
 正当化 95f.101,107,109ff.129f.133f.  
 141ff.241,266,268,281  
 正当化機能 206  
 正当化図式 96,100f.107,110,116  
 制度化 84ff.281  
 生物学 23,75,79ff.207,213,277  
 西洋文明 207,285  
 世界開放性 75,77,80,158

世界観 20,121,132,151,154  
 世界閉鎖性 80  
 セクト 191  
 先行者 51  
 潜在的機能 15  
 専制君主 68f.  
 選択 33,83,97  
 宣伝 128,134  
 洗脳 244  
 専門化 119f.145,168  
 専門知識 71,120,177  
  
 相関主義 13  
 相互類型化 84ff.  
 相対主義 10,13,22  
 總体的社会現象 285  
 相対的に自然的な世界観 11  
 僧侶 130,220  
 存在拘束性 6

## た 行

第一次的社会化 196ff.224,249f.254,  
 260f.278  
 待機 40  
 対象化 32,34,60f.103,106,111ff.135,137  
 第二次的社会化 199,204,209ff.260f.273,  
 279  
 タイプ 108,113,265f.  
 対面的状況 43ff.53,57f.  
 多元主義 189f.263  
 多元性 230  
 多元的社会 189,220,230  
 俗性 178  
 立場による拘束 10  
 タブー 85  
  
 知識 1ff.13,17,20f.100ff.108ff.117ff.122  
 知識在庫 64,66ff.70f.83,100,104ff.113f.  
 117ff.177,124f.208  
 知識社会学 1f.4ff.121  
 知識人 28,119,190ff.270  
 知識の社会的配分 6,23,70f.118f.262  
 中世社会 170,184,186  
 超越 61f.90

- 虚偽意識 8f.13  
 寄留民 184  
 儀礼 235  
 禁忌 236  
 近視相姦 5f.143,148,279  
  
 空間的構造 39  
 区別 130ff.  
 君主 117  
  
 経済的余裕 124,130f.177  
 芸術 38,62  
 劇場 37  
 結婚 138  
 決断 83  
 権威 134  
 言語 38,57,62,105,115,208  
 顕在的機能 15  
 現在形 11  
 現実 1ff.  
 現実志向的 267  
 現象学的分析 29f.  
 現前化 7,61  
 幻想 147,153,260  
 限定された意味の領域 37f.  
 現認 78,198ff.  
 権力 165,179,183ff.  
  
 語彙 32,63,111,144,210  
 行為 25,84,100,111ff.  
 交渉関係 47  
 個性化 48,50f.  
 構造-機能主義理論 15  
 後続者 51  
 行動 113f.277  
 構文 63  
 護教論 174  
 ここといま 32,34,43,50,56ff.61  
 心の治療 171  
 個人主義 259  
 古代文明 123,183  
 ことば 57f.92,100,102,105f.156,202,  
 205,211,217,257  
 ことばの共通性 232  
  
 子ども 75,90ff.95f.110,144,161,213ff.  
 254ff.  
 孤立状態 80,84  
  
 さ 行  
  
 刷新 89  
 サンガ 239  
 産業革命 186  
 産業社会 131,189,262  
  
 死 40,154ff.225,236,276f.279  
 自我 78f.86,112f.139,260ff.  
 時間 40  
 時間性 39f.197  
 時間的構造 39ff.  
 事実性 135f.  
 至上(至高)の現実 31,37f.155  
 至上の地位 38  
 自然的態度 32,34f.  
 実在的要因 11  
 社会化 91f.94ff.100,102f.110,196ff.  
 社会階級 182,200,208,210,256,276  
 社会科学 19,128,133,284  
 社会学 2,8,18ff.28  
 社会的移動 244  
 社会統制 84f.96,179,277  
 輻 74  
 習慣化 82ff.97f.114,143,178  
 宗教 38,62,109,117,186ff.220,225,230,  
 243,282  
 宗教的経験 38  
 集団的アイデンティティ 264  
 自由に浮動するインテリゲンチア 14  
 主観的現実 30,196ff.  
 呪物 212  
 呪物崇拜 212  
 寿命 276  
 準拠集団論 15  
 消化 278  
 症候学 172  
 定式 108  
 常識 22,28,34,36  
 情緒 250,271  
 象徴 62f.109,115ff.117,132,134

## 事項索引

### あ 行

アイデンティティ 78,103,139,152f.  
247ff,264ff.  
悪夢 155  
悪霊の憑依 172,175,267  
遊び 37  
新しい世代 91,95f,142,161  
アノミー 155,157  
暗黙の了解事項 210  
  
位階的秩序 154,156  
医学 131,134  
怒り 53,56  
意識 7,30f,104,112,120,127,136f.  
意識の流れ 39  
意志疎通 34  
意思表出 43,57,278  
移住 171  
威信 134,214  
異端 162,174,184  
異端者 190,236  
逸脱 96,102,148,162,192,250ff.  
一般化された他者 203,209  
一般の人 1  
イデオロギー 8,13f,16,20,186ff,192f.  
意味ある他者 76,78,199f,202,204,226ff.  
240,254,256  
意味論の領域 63  
  
ウンマ 239  
疑いの停止 35  
宇宙論 148,267  
裏切り者 259  
  
男らしさ 279  
汚名(スティグマ) 250  
親 90,214ff,245,254,256  
オルガズム 278

女らしさ 255

### か 行

外化 79,81,94,102,158,196  
外国人 236  
下位社会 191f.  
下位世界 130ff,192,210  
概念化 177ff.  
会話 230ff,240f  
カオス 157  
科学 62,103,132,134,146,148,265ff.  
格言 144  
革新 189  
革命 191  
革命家 219f.  
隔離 184ff,240  
活動 9,74,81ff,94  
家庭 222,258  
下部構造-上部構造 8f,11  
神 138,153,164f,252f.  
環境 74ff.  
観念的要因 11  
  
記憶 61,104,143,234f.  
危機 225,235  
記号 55ff,63  
記号体系 56ff,104f.  
儀式 210ff,236  
疑似プラグマティズム 181  
偽善的態度 46  
機能性 109f.  
規範 201  
客観化 29,53ff,59,94,96,102,104f,112,  
114  
客観的現実 91ff,95ff,203,247f.  
教育 108,110  
鏡像 45,91  
恐怖 150,155  
狂気 37,150

- Lukács, G. 289,301
- Malinowski, B. 295,304,312
- Mannheim, K. 12ff.291,301,305,307
- Maquet, J. J. 291
- Marx, K. 8f.11ff.23,289,295,296,297, 298,299,300,301,302,303,304,305,306
- Mauss, M. 311
- Mead, G. H. 23,292,293,295,296,297, 303,307,308
- Mead, M. 295
- Merleau-Ponty, M. 312
- Merton, R. K. 15f.291,292,310
- Mills, C. W. 16,291,309,311
- Monnerot, J. 302
- Murdock, G. 295
- Natanson, M. 294,295
- Nietzsche, F. W. 7f.290,304
- Ogburn, W. F. 301
- Ovesey, L. 311
- Pareto, V. 8,295,298,303,305,306
- Parsons, T. 15f.24,291,293,299,309
- Pascal, B. 7
- Piaget, J. 297,302,305,308,313
- Plessner, H. 23,294,296,308,313
- Popitz, H. 297
- Portmann, A. 294,295
- Pullberg, S. 302,303
- Radin, P. 306
- Riesman, D. 309,310
- Rose, A. 292,311
- Roth, J. A. 311
- Salomon, A. 289
- Sartre, J.-P. 296,299,302,303
- Scheler, M. 5,8f.10ff.289,290,291,296, 301,306,307
- Schelsky, H. 311
- Schelting, A. von 291
- Schutz, A. 22f.292,293,294,296,298,299, 303,304,307,312
- Seidel, A. 290
- Shibutani, T. 292
- Simmel, G. 297,300,306,307,308,310, 311
- Spann, O. 312
- Stark, W. 17,289,290,291,292
- Strauss, A. 295,304
- Tenbruck, F. 293,297,298,310,311
- Thomas, W. I. 297
- Tönnies, F. 299
- Topitsch, E. 16,292
- Uexküll, J. von 294
- Veblen, T. 306,307
- Voegelin, E. 299,303,305,306
- Weber, A. 14
- Weber, M. 8,23,25,291,293,297,299,300, 303,304,306,307
- Windelband, W. 289
- Wolff, K. 291
- Znaniecki, F. 305

## 序論および原注の人名索引

- Antoni, C. 290  
 Ariès, p. 308  
 Aron, R. 290,291,305  
  
 Barth, H. 289  
 Benedict, R. 295  
 Berger, B. 305  
 Berger, P. L. 294,297,302,303,307,310, 311  
 Bergson, H. 312  
 Birnbaum, N. 292  
 Bultmann, R. 305  
 Buytendijk, F. J. J. 294  
  
 Calvez, J.-Y. 289  
 Comte, A. 305  
 Cooley, C. H. 308,309  
 Cory, D. W. 311  
 Cuvillier, A. 302  
  
 DeGré, G. L. 292  
 Dilthey, W. 10,14,290  
 Durkheim, E. 8,23,25,292,293,296,297, 298,299,302,303,304,306,310,313  
  
 Eliade, M. 303,305  
 Engels, F. 306,312  
  
 Festinger, L. 306,310  
 Feuerbach, L. 304  
 Freidson, E. 311  
 Freud, S. 290,293,295,304,308,311,313  
 Freyer, H. 290  
  
 Gabel, J. 301  
 Gehlen, A. 23,294,296,297,300,305,311  
 Geiger, T. 16,291,305  
 Gerth, H. H. 309,311  
 Goffman, E. 304,308,309,310,311  
  
 Goldmann, L. 301  
 Grünwald, E. 290  
 Gurvitch, G. 292  
  
 Halbwachs, M. 304  
 Hall, E. T. 311  
 Hegel, G. W. F. 296,297,298,305  
 Heidegger, M. 304  
 Heimsoeth, H. 289  
 Hughes, E. 309  
 Hughes, H. S. 290  
 Hunter, E. 310  
 Husserl, E. 298  
 Huszar, G. B. de 305  
  
 James, W. 308  
 Jaspers, K. 303  
  
 Kardiner, A. 311  
 Kauffmann, W. A. 290  
 Kautsky, K. 289  
 Kellner, H. 294,297,310  
 Kelsen, H. 292  
 Kluckhohn, C. 295  
 Kolakowski, L. 307  
  
 Labriola, A. 289  
 Lampert, E. 307  
 Landshut, S. 290  
 Lapassade, G. 293  
 Leeuw, G. van der 305  
 Lenin, N. 8  
 Lenk, K. 289,292,306  
 Lévi-Strauss, C. 298,302,304,308  
 Lévy-Bruhl, L. 299,302,305,308  
 Lieber, H.-J. 290,291  
 Litman, T. J. 311  
 Löwith, K. 290  
 Luckmann, T. 293,294,307,310,311



## 訳者紹介

山口節郎 (やまぐちせつお)

1940年 大阪に生まれる

1963年 名古屋大学文学部卒業

東京大学大学院社会学研究科を経て

現在 大阪大学大学院教授

主 著 「社会と意味」(勁草書房)

「現代社会のゆらぎとリスク」(新曜社)

訳 書 ハーバマス、ルーマン「批判理論と社会システム理論」(共訳、木鐸社)

ハーバマス「コミュニケーション的行為の理論」  
(共訳、未来社) など



## 現実の社会的構成

知識社会学論考

---

初版第1刷発行 1977年6月5日©

新版第1刷発行 2003年2月20日

著 者 ピーター・L. バーガー  
トーマス・ルックマン

訳 者 山口節郎

発行者 堀江 洪

発行所 株式会社新曜社

〒101-0051 東京都千代田区神田神保町2-10

電話 (03) 3264 4973・Fax (03) 3239-2958

URL <http://www.shinyo-sha.co.jp/>

---

印刷 太洋社

製本 光明社

ISBN4-7885-0839-7 C1036

癒しとしての笑い　ピーター・バーガーのユーモア論　P・バーガー　森下伸也訳　四六判四三二頁  
本体三五〇〇円

社会学再考　方法としての解釈　HP・バーガー  
H・ケルナー　森下伸也訳　四六判二七三頁  
本体二四〇〇円

聖なる天蓋　神聖世界の社会学　P・バーガー　岡田　稔訳　四六判三一二頁  
本体二六〇〇円

現代社会のゆらぎとリスク　山口節郎　四六判二九六頁  
本体二八〇〇円

エーリツヒ・フロム　希望なき時代の希望　出口剛司　A5判三三六頁  
本体三八〇〇円

心の社会的構成　ツイトゲンシュタイン派  
エスノメソドロロジーの視点　J・クルター　西阪　仰訳　四六判三二〇頁  
本体二九〇〇円

食えることの社会学　食・身体・自己　D・ラプトン　無藤隆隆訳  
佐藤恵理子訳　四六判三六八頁  
本体三二〇〇円

成熟と近代　ニーナエ・ウエーバー・  
フリーコーの系譜学　D・オーウェン　宮原浩二訳  
名部圭一訳　四六判四四八頁  
本体三九〇〇円